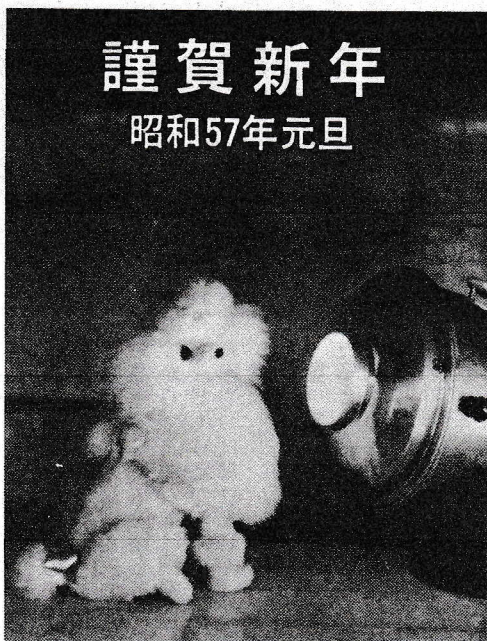


健康と光線

謹賀新年 昭和57年元旦



自然治癒力

自然治癒力とは文字通り自然に備わった病気を治す能力と言いう意味で、今日では日常用語として用いられますが、この言葉の概念が極めて曖昧なこともあって、各人各様の考え方に基ずいて使われています。

一般的には経験的には効果があっても理論的な裏付けがない

ような場合に「自然治癒力を高めて治す」と言う表現が好んで使われる傾向があります。ですから漢方でも、鍼灸でも、手技療法でも、治療法の原理は自然治癒力を促すことにあると書かれることが多い反面、所謂現代医学の書籍でこの言葉を見ることは比較的稀です。

でも実際に治癒力が各個体に固有の治癒能力を意味する以上、さてこれまでに述べたことから、自然治癒力とは各人に備わった抵抗力を総合したものと言

これを無視した医療など有りません。

自然治癒力の由来

因に自然治癒力の語源を辿れば、医学の祖とされるヒポクラテスの残した「ゲイス・メディカトリクス・ナトゥラーエ」、即ち「体の中にある自然の治癒力」までたどり着きます。

ヒポクラテスは、各人が体の中に「ゲイス・メディカトリクス・ナトゥラーエ」と呼ぶ一人の名医を持ち、この名医を動かすには、食物、日光、水、空気休息と言った摂生法を正しく行なわなければならないと説きました。このように体の中から回復の仕事始めるには、各個人が自からの養生法として何を為すべきかについて考えることが必要です。

自然治癒力を高めるには

光線浴が地球上の全てのものを生み育む上で必須であると言え、誰れもが理屈なしに納得してくれれます。にも拘らず、自らが必要な光線浴をしているか、不十分な光線浴が如何なる

自然治癒力を高める

—光線の必要性について—

サナモア光線協会 医博 宇都宮光明
サナモア中央診療所

ではない

い得ます。そこで、もし自然治癒力を高めることが出来れば、病気の治療に役立つのは至極当然のことです。

影響を与えるかについて関心を示す人はむしろ稀です。

でも現実の生活環境は、疑いもなく光線浴の不足に拍車をかけています。既に本紙上の応用光線療法に記述した如く、日光ビタミンであるビタミンDについて検討した成績は、殆んどの人で不足していることを示しています。この原因が大気汚染による紫外線の遮断、人口の密集に伴うスラム化の結果としての日照の不足等、明らかに公害病の形をとっている事実は注目されなければなりません。もしこの現状を無視するならば、知らず知らずに今よりもっと不健全な生活を予儀なくされるのです。加えて光線は病気に対する抵抗力を高めます。サナモア利用者なら目で見えて理解出来る例を示してみます。

擦り傷や火傷などの化膿巣に光線をかけると、分泌液がどんどん出て来ます。この分泌物に抗菌力があることを、リンダニが証明しました。このような生体内にある病氣と闘う機構を、生体防禦機構と呼びますが、光線によって促される有様を目で見て確かめることが出来るのです。

Wo die Sonne nicht hinkommt, dort kommt der Arzt hin. (太陽の来ない所に医者が来る)

(前)号でクル病や骨軟化症の原因が、低栄養でも貧困でもなく、予想だにしない大気汚染や人口集中によるスラム化に伴う日照不足にあるのに気付いて行く糸口になった研究を紹介した。今回も引き続き光線とクル病との関係を追求めた研究について記述する。

(光)線の強さは季節や緯度に關係して変化する。そして各人の光線浴の多寡は、光線の強さに加えて、生活様式の影響を受ける。従って、もしクル病の原因が光線不足なら、発病の頻度は、季節、地域、生活の場合(屋内屋外)などによっても異なる筈である。

この問題についての研究報告のうち、19世紀から20世紀初頭に発表された論文を引用すると、一八八四年にドイツのカンウイツは、クル病は住居が北に偏在していて、暗く長い冬を室内で暮す乳幼児で急速に悪化することを報告。

一九〇六年、ドイツのハンセマンは、秋に生まれ春に死んだ子にはクル病の所見があるが、春に生まれ秋死んだ子にはないことから、発病は季節により異なることを報告。

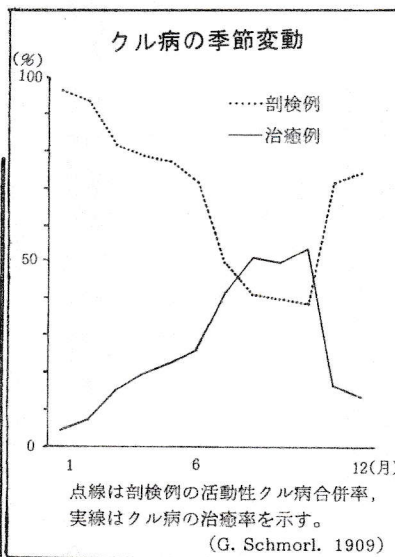
に示しており、我が国においても、曾て東北や北陸地方でクル病の典型例が報告されているので留意すべきである。

(一) 八九〇九年、イギリスのテオバルト・パームは、クル病の治療に光線浴を用い、卓効のあることを報告した。この報告が本格的な臨床応用としては最初のものであるが、まだビタミンDの発見される以前で、単に経験的事実の上に成り立っている、理論的な根拠に乏しいこと

応用光線療法学

□ ビタミンDの作用 □

その 9



医学博士
宇都宮 光明

学使節に対し、発病状況を問合せたのである。パームは問合せの手紙の中に「クル病は北ヨーロッパに限って存在し、他の地域にはないようだ」と書き送っており、既に光線の重要性には気付いていた。

(二) パームの間合せに対し、満洲のクリステイは、人々は粟と米と野菜と豚肉を食べるだけなのに、患者は一人もないことを、

不足によることを確信し、多くの患者で効果を確めた上で、クル病の予防および治療には系統的な光線浴のみが有効と報告したのである。

(三) かしその頃のクル病研究者の多くは、まだ病因を運動不足や低栄養に求めていた。この間の実情は、実験的クル病の研究から推測し得る。

蒙古のスマスは、クル病のないうちに添えて、子供達が日さえて照つていれば冬でも氷の上を殆んど裸裸然と走り廻っているからではないかと返書を出し、ジャワのウェイツは、クル病に罹っていたヨーロッパの子供がジャワに来ると、全く無治療でも数ヶ月以内に悲惨な病状が消失する事実を伝えたのである。

(四) パームは、これらの報告と自己の体験からクル病は光線の不足によることを確信し、多くの患者で効果を確めた上で、クル病の予防および治療には系統的な光線浴のみが有効と報告したのである。

(五) から約百年前、クル病は存在しないと報告された日本も、現在では工業国として発展を続け、大気汚染や人口の都市への集中は急速に進んでいる。その上、社会構造や生活習慣の変化も著しく、自然に浴びる光線量が減少したことは疑いない。それ故、今の日本人には光線欠乏症は存在すると考えるべきである。しかるに特に日本では、パームの時代と同じように光線の意義は等閑に付されている。

例え、社会問題化している大気汚染も、呼吸器や粘膜の病気(喘息、鼻炎、結膜炎など)の原因としては屢々ジャーナリズムにも取り上げられるが、子供の骨折や、老人の骨関節疾患の増加との因果関係を論じた記事は殆んどない。

これは大気汚染の結果の空気の汚れに重点を置いて考察するためであるが、紫外線も確実に遮るのだから、ここに焦点を合わせた研究も重要視されなければならない筈である。

(六) パームの研究が理論的に裏付けられる経過は次号に述べる。

無一物の引揚者

私は樺太から昭和二十年八月

十八日、まだソ連軍が上陸して
くる前に子供二人を連れて脱出
同月二十七日主人の故郷の鹿兒

島に引き揚げて
来ました。敗戦
直後の混乱期で
したので、樺太
からは何一つ持
ち帰れず、主人
は残留（二年後
に帰国）という
ような有様でし
た。

サナモアは樺
太時代より使用
させて頂いて居
り、次男の腎臓
病を治す為に、
故宇都宮義真先
生に御指導をお
願いしました。

お陰様で難病の
腎臓も毎日照射
を続けた処、六ヶ月間で全治致
しました。治療器は持ち帰る
ことは出来なかったのです。

サナモアの有難さは身に沁み
ていて、一日も早く入手したい
と思いましたが、宇都宮先生は

南支那に出征中で、御無事に御
帰国されることをお祈り致して
居りました。

先生は昭和二十一年に復員さ
れ、直ちにサナモアの復興に打
ち込まれました。お陰様をもち
まして、昭和二十二年にはサナ
モア器を購入することが出来た
のです。

ウエノ光線療法の誕生

私は昭和二十二年に鹿兒島県

庁医務課より光
線治療の営業許
可を受け、揖宿
郡額娃村（現在
の額娃町）に於
て開業しました。

早いものでもう
35年前になりました

す。ここで二年間、村の人々の難
病を治すため共に闘いました。
その為、ここには今でもサナモ
ア愛用者が沢山居ます。

昭和二十四年八月に神戸市に
移転致しました。未知の所で、
はたして光線治療が続けられる
かと不安に思いましたが、今日
迄三十三年間無事に続ける事が
出来ました。これもサナモアの
偉力によるものと感謝致して居
ります。

主人が倒れ医者は
絶望と宣言

今迄に多くの患者を治しまし
たが、中でも心に残るのは、主
人の重症の脳血栓に伴う脳軟化
症です。

昭和四十一年十二月二十三日、
75才の時です。急に主人の様子
がおかしいので医者に診て頂き
ますと、脳軟化症と診断されま
した。三日ぐらい経ちますと、

絶望と言われた脳軟化を治す

—ウエノ光線三十五年の歩み—

神戸市中央区下山手通三一五一

ウエノ光線療法

上野

貞

奇蹟的な回復

ら、夜中にござと音がしま
すので病人を見ますと、左手で
腰から下を全部脱ぎ裸でいるの
で驚きました。この様な事が四
〜五日続き、一月十五日頃より
食事水も全く摂らなくなり、
死人と同じ様に肛門が大きく開
き、往診して下さる医者からは
これ以上の事は出来ぬと申され
もう駄目と思いましたが、肛門
にも朝夕10〜15分程照射するこ
とに致しました。

肛門にサナモ

アをかけてから
少しづつ締め、
三日続けたら完
全に締まりました。
五日目に奇蹟が

起りました。小さな声で湯タン
ポと言うのです。娘に聞かせて
も湯タンポと聞えると言うので
す。電気コタツも入れて足元は
暖かいはずで初めは何んの事か
分らず困りました。ふと気づい

たのは、湯タンポにはお湯が入
っているのです。もしか水を欲し
がっているのではと思い、水で
すかと聞くと首で返事しました。
日頃お茶の好きな人でしたので
薄いお茶を匙で口に持って行き

ますと、ゴクリと喉を通ったの
です。嬉しいやら驚くやら、や
つと愁眉を開いた思いです。夕
食も少しづつ食べました。此日
から、死より生へ移ったのです。
二月の初めには床から這い出
てテレビのニュースを見ると立
になりました。三月になると立
ってトイレに行く様になり、あ
まり早く良くなるので心配して
ます内、四月一日には床屋に行
くと言いましたので連れて
行き、風呂に入り、翌日より床
上げ致しました。医者は大奇蹟
だと驚いていました。

右肘と手首の硬直は一度も光
線照射はしませんでした。例え
ば大木の枯枝に水をかけても生
きませんのと同じで、根本の治
療をすることが必要で、硬直は
体と一緒に自然に動く様になり
ました。

元通りの体になり、その後十
五年生き延びましたが、昨年四
月二十九日、老衰のため眠るが
如く故人となりました。

サナモア光線の偉大なる力に
より、この難病と闘い抜くこと
が出来ました。どんな重い病気
でも信念を持って根気よく光線
療法を続ける事をおすすめ致し
ます。

サナモアの効果に感謝の日々

サナモアの効果に感謝の日々

サナモア愛用者の皆様

明けて

お目出度うございます。

さて光線療法を始めて三十年になります。この間、注射も薬

も一度も使用したことはありません。しかし私

とて生身の体です。病気をすることでもござ

います。そこで我が身で経験した体験実話を

発表いたします。何かの参考にして頂けたらと思

っています。突然尿が

異常になる

丁度私が50才

の時のことです。人蔘のしぼり

汁のような尿、

苺をつぶしたのをちりばめたような尿、米のとき汁のような尿

が交互に出るかと思えば、麺類(春雨)を柔らかく煮てピンク色

に染めたような長めの固形物を混ぜた尿、之が出る時は尿道が

一時的だが詰ってしまい、尿意をもよおしているにもかかわらず、全々出なくなってしまうの

です。吃驚して直ぐにBカーボンで10分位尿道口を照射すると

再び尿意が起り、平常通りにびようびようと尿と固形物が一緒に出ます。

このような状態が五ヶ月から六ヶ月間続きました。その間、右側腹部は延膏薬を張りつけた

ような状態でしたが、痛むことは全くありませんでした。それ

に疲労感、倦怠感等も全々なく、食欲も平常と変わ

りなく何んでも食べられました。

而し、肋骨は次第次第に露わになり、全身的に痩せて行くので、それだけが非常に気がかりでした。

幾人かの人から病院で精密検査をしてもらったかどうかと何回も勧められました。光線照射で全快しなかったら、光線治療師としての仕事はきっぱり止

める覚悟であったし、変な病名だけをもらっても治らないなら、絶対に話した。

おかしな尿

私の闘病記

福岡県春日市大字須玖一六四

前田光線治療所

前田 ミ サ

はのりませんでした。

この間も、光線治療所の仕事

や、家事一般については一日も休まず、従来通り毎日働きました。

光線と食事療法だけで治す

カーボンはAA、AB、AD、BD、BC、ACを二日、三日づつ交互に使用しました。照射部位は(1)足裏、(2)足首、

こんな状態で約六ヶ月経過した時、一切の異常所見がびたりと止り、全く健康そのものの尿

が出たのです。翌日も、又その翌日も、又その翌日もと一週間

経っても、この六ヶ月間悩まされた異常尿所見は全く出なくなったのです。「ああよかった」と

とほんとに安心しながらも、一方ではまだまだと云う不安な気持ちもありました。

一ヶ月経ち、

二ヶ月経ち、六ヶ月経ちても全

く再発しません。そして現在まで既に十有余年の

才月が過ぎましたが、再発どころか、ますます

元気に仕事に精を出しています。顧り見て、サナモア光線を信じ

て本当によかったと心から感謝しています。

病名も定かでない自分自身の体験ですが、光線を知りましてこの方三十年間、光線と共に生

きた者の我が儘をお許し下さいませ。

(サナモア光線に合掌しつつ)

「ホントにホント？」

テレビの番組に「ホントにホント？」というゲーム番組があった。ニセモノとホンモノを見

分ける他愛のない番組であった。しかし、テレビだから笑って

いられるが、ニセモノが日常生活の中に入り込んで来たらどう

であろうか。ニセ・カーボンが登場して一年有余、昨年もさまざまな分野でニセモノが闊歩した一年であった。有名商品のニ

セハンドバッグや靴、バイオリンのニセ鑑定書、更には、お正月の食卓に欠かせないカズノコ、ゴマ、イクラ……までニセモノが登場している。

子どもに人気のあったオモチャ、ルービック・キューブもまた然り。

しかし、ニセ物はしよせんニセ物である。ニセのオモチャで遊ぶとするとたちまちバラバラにこわれてしまう。童心を傷

つけるものではない。

この様なニセ物を作る人間に共通して云えることは「金儲け」の一言に尽きるといふことだ。

物を選ぶ時、常に「ホントにホント？」と自問自答しなくてはならないとは全くやりきれない。まして、ニセカーボンの様に、人の健康に係わる問題となると事は重大である。

IBIサナモア・カーボンABCは厳重な品質管理のもとに作り出される一級のカーボンです。今年もどうぞ安心して御利用頂きたいと念じております。

サナモア体験記

東京都目黒区洗足2ノ26ノ2

熊田 秀三郎

前立腺肥大と言う病気は、自分になってみて意外に多いのに驚いた。そして我々の年令(當年73才)になると、自覚症状が無くとも大部分の人が罹っている老人特有の病気であることも知った。

私の経過を説明すれば、昭和53年の春頃から尿の出が悪くなり、2週間に1回位づつ通院して尿の検査などしていたが、秋頃になって詰まるようになり、便所の中で2時間位運動して排泄に努めると言う状態が暮までに何度も続くようになった。

それで、手術を受けることになり、昭和54年1月16日、北浦和の県立病院に入病した。手術術式はTURとか言う方法で、(註、経尿道的前立腺切除術)、尿道から鏡を入れて肥大した前立腺を削り取るのである。この方法は痛みも少なく、後遺症もない上簡単で良いのだが、これがないかなかの典者で、半年も経たぬ内に元に戻り、又々入院と入院を繰り返したと言う人が居た。

程だ。

私は、入院1週間目に手術し、2週間で退院した。その後2ヶ月位は、比較的平穩無事であったが、4月頃から時々痛みを覚えたり、尿の出が悪くなる。そして6月22日、昼食後一休みして便所に行ったが尿が出ない。2時間以上格闘したが全く出ない。止むを得ず救急車を呼び、近くの昭大病院で導尿してもら

排尿の工夫に明け暮れていて、パイプ作戦から最後は手術か、などと書いてある。

知友の中柳氏が心配して、同氏の斡旋で大久保病院の稲田先生の診察を受けた。この時のレントゲン所見が写真1である。その結果8月6日入院、8日手術と決ったが、当日は大手術が入り、若い医者の手で手術が行なわれた。稲田先生は東京でも

応急処置をしてもらい、大久保病院でレントゲンを撮った結果は、写真2の如くで、再入院せよとのことだったが、3月の申告の準備を理由に延期した。丁度その頃、同業(写真店)の飯田氏や渡辺氏が心配して光線療法をしてみろと言われ、両氏の家で度々かけてもらった。その結果、尿の出方の調子がよ

いと言われた。7月半頃からDカーボンを購入して、BとDの組合せにした。9月には全快したと思える程調子よく放尿できたが、稀に出の悪いこともあった。この頃には月に一回の膀胱洗滌もいらなくなった。光線も股20分、腰10分にした。



前立腺肥大を克服

(1)

(2)

(3)

(4)

い、パイプをつめて帰る。翌日レントゲン検査を受けたが、肥大した前立腺が膀胱頸部へ膨隆し、前立腺部尿道は細くなっているため、何れ再手術をしなければとのことであった。案の定、7月15日午前2時頃より再び完全尿閉を起し、5時を過ぎてもどうしても出ないので、昭大病院に行きパイプをつめてもらう。

有数の泌尿器科の権威なので残念でならなかった。執刀した医者にどの位切ったかと尋ねたら、3グラム位に答えた。私はがっかりした。この分では又やり直しかと内心自分に言い聞かせ、心の準備をした。はたせるかな11月の末頃から時々詰まり出した。

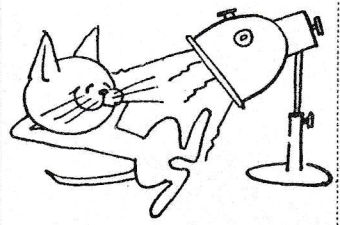
昭和55年も尿閉で始まった。正月早々詰ったので昭大病院で

「貴方が具合よければやりなさい。光線による副作用は考えられないから。」との話で私も安心して、治療器を購入して自宅で治療を続けた。

話は前後するが、治療はABカーボンで、毎夜就寝前股(会陰部)に30分、腰に10分、毎朝腰に10分、足の裏に10分程かけていた。写真3は同年7月に撮ったが、これからも分るよう

昭和56年6月旅行に行ったが、尿は快調に過ぎる。その後股10分、腰10分を続けているが全快の状態が続いている。それでも確かめなくてはと9月に病院に行き、尿やレントゲンの検査を受けた。この時の結果が写真4である。

治った!! 本当に嬉しい。完全に近い状態なので、私が「先生、今後隔月位に尿検査でもして頂きますか」と言ったら、居合せた細田先生が言った言葉がいい。「気が向いたら、たまには遊びにいらっしゃい。」何卒全国の同病の方々、安心して治療に専念して下さい。私も家内や息子達と共に、心から喜んで居ます。



一治験例報告一

☆心不全

症例 70才 女性
症状 時々発作的に胸内苦悶

胸部圧迫感を覚え、いつも咳をしていて痰もよく出る。その上胃腸も弱く、食物を嘔吐することが続いていた。

このため慢性気管支炎を合併した軽い心不全との診断を受けていた。

ところが患者の永年の友人で以前より胃腸病を患っていた人が最近とても元気なので不思議に思い、その訳を聞いたら、「光線療法を受けてから15年来の胃腸病がすっかり良くなったので、貴女もやったら」と言われ、当院を紹介された。

療法経過 A Bカーボンを使用、肛門部10分、喉、腰、膝各5分、下腹部10分、足裏15分の合計50分照射、約二カ月の治療で気管支炎症

状は消失し、自覚的にも体調は良効となり、胸内苦悶もあまり起らなくなる。一応六カ月間治療を行ったが、自覚的には完治の状態になる。

☆火傷
症例1 18才 女性
症状 右足背(足の甲)にヤカンの熱湯をかける。近医に通院するも白い薬を塗り替るだけの治療であったとこのことで、受傷後12日目には患部は化膿して右足大腿部の付け根まで赤く腫れ上り、歩行は困難で、睡眠も殆んどとれない。

後少なくなる。3週目頃には化膿の外周より新しい皮膚が拡がり、4週間で踵をついて壁のつたい歩きが出来るまでになった。

☆左足関節捻挫
症例 17才 女性
症状 体育の授業でソフトボールの試合中に左足クルブシ下部を捻挫、学校の保健係より冷湿布の手当を受け、病院受診を指示される。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四一七二一五〇六七

療法経過 Bカーボン使用、初日は患部に40分朝夕2回照射その夜は眠れる。2日目より排膿が始まり、2週間位は続き以

患者部に朝夕2回、各20分照射、約二週間の経過で全快、(火傷の光線療法を行う場合、照射開始時瞬間的に痛みが増すことが

の違ひこそあれ一〇〇%に認めます。ですから膝について言えば、痛みもなく屈伸できるようになることであり、前立腺では容易に排尿できるように治すことが大切です。

老年病治療の要諦

(問) 変形性膝関節症

心筋硬塞
前立腺肥大

(鹿児島県国分市 S.K殿 82才)

サナモアを使用する様になつてから三カ月、膝の痛さも大分よくなりましたが、レントゲン検査では骨が変形して

いるとの事です。完治するでしょう。か。又、

立腺肥大は、老令者では程度

昨年末胸の苦しみがあり、国立病院で診て頂きました。心筋硬塞とのことで入院をすすめられましたが、入院せず近くの医院に通って薬を服用中です。尚、小便の出が悪かったので前立腺の方もかけておりましたが、出はよくなりました。この三つの病気の治療を一緒に施行して良いか悪いが御教示願います。

お手紙では膝の痛みも尿の出も良くなった由ですが、特に御注意頂きたいものは、良くなつても止めないこと、これが今後ともよりよい状態を続けると共に、他の今だ気付かざる老化に伴う変化をも予防するのです。

全身性に血管は拡張し、血流がよくなるため、心筋硬塞病巣部の回復ならびに再発防止に有効です。

投稿のお願い

サナモアの効果は、体験者にしか分って貰えないことは、素直に認めなければなりません。例えば鎮痛効果のない人はいない、使ったことのない人は、仲々信じてくれませんが、愛用者だよりを読むと、光線は疑いの目で見ます。こんな時、愛用者だよりを読むと、勇気が倍加します。どんなことでも結構ですので、投稿下さるようお願いいたします。

岩見沢市 荘司 トミ氏報告

■火傷残酷物語■

医学は科学の中でも特殊な性格を持ち、経験の上に成り立つことから、試行錯誤の繰返しによって進歩してきました。言い換えれば、医学の世界には誤りつきものですが、もし誤りに気が付いたら直ちに訂正して、少しでも正しい方法を選んで行くと言うことです。でも現実には必ずしも理想通りに運ばないのは他の世界と同じです。

今回たまたま治験例に掲載した火傷の報告例を読んだ時、実に暗澹たる気持ちになりました。何故なら既に遠の昔に捨てられた筈の誤った治療法が行なわれ苦しむ必要のない人を苦しめたように思えてならないからです。今は亡き前所長が、火傷で痕を残したくないなら光線をかけろ、痕になりたかったら医者に行けと言っていました。御記憶の方もあるかと思いますが、これは実に不遜な許し難い暴言の筈です。しかし前所長をして斯く言わしめた原因が、正にこの例に如実に示されています。

も一度読み直して頂き、白い薬を塗ると言う所に注目して下さい。今から15、20年前まで火傷にチンク油と呼ぶ白い軟膏を塗布する治療法が広く行なわれていたもので、思い当る人も多いのではないかと思います。でも、そう言う人も、そう言えば最近は見えないと思う筈です。曾て、チンク油が火傷の治療に用いられた理由は、傷口からの分泌物をよく吸収して、傷口を乾す作用が強く、これで治ると誤って理解したためです。ですから、この特徴を生かすために、水疱の皮膚を切除してからチンク油を塗ると言う様な、かなり無茶な治療を正しいと信じて行った医師もあるくらいです。しかし今では殆んど用いられなくなったのは、滅菌されていなかったため傷口を汚染し化膿させると言う様な許されないことを起すのと、傷口を乾燥させても治療上役立たないことが分ったからです。

目 黒 通 信

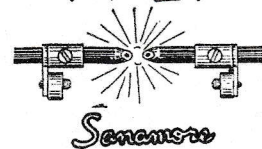
きます。その上で、受傷部を清潔に保つことに全力を注入すべきです。化膿さえしなければ、一週間程度どはつきます。勿論痕になることもない筈です。ついでに火傷が痕になるか、ならないかの境いに触れておきます。火傷が皮膚に局限していれば、皮膚の再生能のため痕にはなりません。熱湯による場合は、ほぼこれに該当します。これに対し、真皮まで及ぶと痕になります。治験例のアンカによる症例2の場合です。でも化膿させればいずれも痕になります。

☆ 特に冬場は光線不足になり、全般的に抵抗力が減弱します。でも厚着して閉じ籠っても病気は防げません。

☆ 光線不足を解消して、冬を元気に乗り切るには、サナモア光線が一番です。

☆ 新年は一月五日頃から営業を開始します。

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物・手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお不十分と言わざるを得ません。

このため、人々の健康を願うと共に光線療法について、啓蒙・普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に「サナモア光線協会」を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親・体験発表・意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三二五二八二
セーニ一五三三二二